

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10587001				
授業名	国際関係と外交課題 A	形態	講義	単位	2
担当教員	石綿 寛				
開講学期	2017年度 後学期	曜日・時限	火曜3限		
授業目的	国際政治の歴史および国際関係理論を学び、形成されてきた国際秩序および現代日本の外交課題・国際課題を理解する。国際関係論や国際政治を専門的に学ぶ上での基礎知識を取得する。				
授業内容	国際政治史・国際関係理論・現代の国際政治におけるアクターや課題を概説する。また日本の外交課題を考察するために、日米関係、日本と東アジア、日本外交の多元化を事例として取り上げる。				
到達目標	現在の国際政治を歴史、理論の視点から考えられるようになるとともに、興味がある日本の国際的課題への取り組みに対して情報を適切に理解できるようになる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> この講義を受講することによって、現代の国際関係の基本的なリテラシーを習得できるようになる。また、この講義を受けることで国際的な課題と日常生活のつながりを理解することができる。				
授業形態	講義形式を中心におこなう。講義によっては映像資料なども用いる。毎回授業では、双方向性を実現するため、そして理解度・習熟度を見るためにリアクションペーパーの提出が求められる。				
事前・事後学習の所要時間	事前学習は、授業で取り扱う中心的なテーマを調べておくことで授業の理解度を深めることが目的である。目安としては2時間の学習が望まれる。 事後学習は、授業内容で理解できなかったこと、興味をもったことを新聞記事・関連書籍から調べることである。また最終レポート作成に向けての調査が中心となる。目安としては2時間の学習が望まれる。				
テキスト	決まったテキストは使用しない。毎回用意されるレジュメがテキストとなる。				
評価方法	リアクションペーパー、最終レポートによって授業内容への理解度・習熟度・研究姿勢を判断する。				
評価基準	リアクションペーパー50% 最終レポート50%				
試験・レポート等のフィードバック	授業ではリアクションペーパーを実施する。その際に、深く考察されたものを授業内で発表をする。また、最終レポートを提出するにあたり、レポート作成法の講義を実施する予定である。				
注意事項及び履修条件	授業への積極的な参加が望まれる。リアクションペーパーを通じて、講義で学んだこと、考えたこと、自分との関係を積極的に記述することが望まれる。また、個々人で自習をおこない興味を持ったテーマについて文献調査をすることが必要となる。				
S : 100~90、A : 89~80、B : 79~70、C : 69~60、D : 60未満					
第1回					
事前学習	個々人の興味のある国外のニュースについて新聞記事・インターネットで調べてみる。				
授業内容	受講のルール、到達目標、課題、授業評価など学習内容全体の概要説明をする。そのうえで、国際関係と外交課題の講義における方法論について紹介する。				
事後学習	授業のルールや課題、授業評価などを復習すること。授業で配布されたレジュメを復習すること				
参考文献					
第2回					
事前学習	国際関係とは何かについてを本やインターネット、新聞記事などから調べておく。				
授業内容	国際関係および国際関係論についての定義・議論を講義する。国際関係論が何を目指しているのかを理解する。				
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。				
参考文献					
第3回					
事前学習	国際関係論における古典的リベラリズムとは何かを、各自学術書や事典を使い調べてみる。				
授業内容	国際政治システムの第1回目。第一次大戦後における国際秩序とは何か。国際関係論誕生の背景とは何か。なぜ第一次大戦後の国際秩序は機能不全に陥ったかを理解する。				
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。				
参考文献					

第4回	
事前学習	国際関係論における現実主義とは何かに関連する学術書、事典、インターネット、論文を探して調べてみる。
授業内容	国際政治システムの第2回目。第二次大戦後における国際秩序とは何か。そこにおける国際関係論の貢献は何か。どのような問題をかかえていたかを理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第5回	
事前学習	新自由主義という概念について本や事典などから調べてみる。
授業内容	国際政治システムの第3回目。戦後から現代にかけて形成されている国際秩序とは何か。その背景にある考え方は何か。どのような問題をかかえていたかを理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第6回	
事前学習	国際関係論における従属理論とは何かについて、国際関係に関する書籍・事典を使って調べてみる。
授業内容	暴力としての国際秩序の第1回目。現代までに形成されてきた国際秩序を批判的に検証する。現代国際社会がどのような課題を抱えているかを理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第7回	
事前学習	国際関係論における構造的暴力の概念について関連する文献から調べてみる。
授業内容	暴力としての国際秩序の第2回目。現代までに形成されてきた国際秩序を批判的に検証するためにアフリカの国々を事例に講義をおこなう。国際社会における権力関係を理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第8回	
事前学習	9/11事件について調べてみる。
授業内容	暴力としての国際秩序の第3回目。「新しい戦争」という国際秩序に対する脅威について講義をおこなう。国際社会における権力関係が安全保障を実施する上で問題になっていることを理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第9回	
事前学習	国際関係におけるNGOの役割について関連する書籍から調べてみる。
授業内容	国際関係の主体について講義の第1回目。国際課題に対処する主体が多様化していることを理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第10回	
事前学習	多文化主義とは何かについて各自で各種情報リソースから調べてみる。
授業内容	国際関係の主体についての講義の第2回目。現代における人々の移動とそこにおける共生の問題について理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	
第11回	
事前学習	日本の戦後外交とは何かについて各自で関連する書籍から調べてみる。
授業内容	日本の外交課題の第1回目。第二次大戦後に実施されてきた日本の外交の特徴とは何かについて理解する。また最終課題の作成方法について理解する。

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみること。
参考文献	
第12回	
事前学習	日米安保の言葉の意味について関連する書籍から調べてみる。
授業内容	日本の外交課題の第2回目。日本の安全保障について講義をおこなう。日米安全保障体制が現代どのような方向に向かっているかを理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみること。
参考文献	
第13回	
事前学習	なぜ米軍基地が現代問題とされているのかを理解する。
授業内容	日本の外交課題の第3回目。日米安全保障体制がもっている問題やリスクについて理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみること。
参考文献	
第14回	
事前学習	日本のNGO活動について調べてみる。
授業内容	日本の外交課題の第4回目。現在の日本の安全保障政策がもたらすリスクを海外の日本のNGOの活動から理解する。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみること。
参考文献	
第15回	
事前学習	最終レポートを完成させる。
授業内容	講義全体の要約をした上でまとめをおこなう。またその後に最終レポートについての質疑応答をおこなう。
事後学習	授業で学んだこと、これからも取り組みたいと思う国際課題を記述すること。
参考文献	
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>